阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友仍会通信

2011-2012

No.3 (通巻64号)

2011.10.15発行

■ 目次	秋の研修旅行 鶴岡市温海地域「山五十川集落の能と歌舞伎」を鑑賞するバスツアー
	友の会活動に参加しませんか?
	10月・12月に開催する博物館&友の会事業のご案内/友の会伝言板~事務局より/編集後記

発行:吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1(阿賀野市立吉田東伍記念博物館内) TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 http://wind.ap.teacup.com/togo/

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html

E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

秋の研修旅行

やまいらがわ

鶴岡市温海地域「山五十川集落の能と歌舞伎」を鑑賞するバスツアー

恒例の研修旅行は、県境・鼠ヶ関を越えて山形県鶴岡市(旧温海町)を訪ねます。山五十川(やまいらがわ) 集落は、毎年、「山戸能」(やまとのう)と山五十川歌舞伎を河内神社例祭の神事として上演しています。集落 の皆さんが演者となって守り続ける民俗芸能を、紅葉の風景とともに楽しみませんか。

期 日 平成23年 **11**月**23**日(水·祝)

集 合 午前7時30分:阿賀野市安田体育館駐車場 午前8時:新津地域学園

行 程 (予定) 7:30 安田体育館駐車場 → 8:00 新津地域学園 → 日東道・豊栄PA → 10:00 道の駅朝日「みどりの里」

- → 10:30 史跡「近世念珠関址」 → 11:00 山五十川公民館(会場)着·昼食·「玉杉」見学
- → 12:00 開演(15:45終演)山戸能・山五十川歌舞伎を鑑賞 →16:00 山五十川公民館発
- → 16:30 道の駅あつみ「しゃりん」(お土産) → 途中休憩 → 19:00新津地域学園
- → 19:30 安田体育館駐車場着

演目能:「座揃い囃子」「恋慕の舞」「式三番」「高砂」

歌舞伎:「仮名手本忠臣蔵」七段目 祇園一力茶屋の場

参加費 参加費(バス代・昼食代等) 会員5,000円、非会員6,000円

※当日入会も可能ですのでご家族・ご友人などお誘い合わせのうえご参加下さい。

定員 定員 25名(先着順)

申し込み 11月16日(水)までに友の会事務局へ電話・FAX・メールでお申し込みください。

旅のメモ

山五十川集落の「山戸能」と「山五十川歌舞伎」は、いずれも山形県無形民俗文化財に指定されています。「山戸能」は、集落の鎮守・河内神社の例大祭に行われる神事能(観世流)です。はじまりは、貞観年間(859-877)とも、寛永年間(1624-1644)ともいわれています。「山五十川歌舞伎」もまた河内神社の奉納興行として自治会・古典芸能保存会が守り伝えています。はじまりは、宝永年間(1704-1710)とも、寛政 4 年(1792 年)ともいわれます。今回の研修旅行は、「吉田東伍と世阿弥・能楽」をテーマにした友の会活動の一環として、集落が守り伝える2つの古典芸能を、隣接する熊野神社の境内にある樹齢 1,500 年といわれる「山五十川の玉杉」の景観とともに味わってみたいと思います。(事務局)

友の会活動に参加しませんか?

吉田東伍記念博物館友の会は、多彩な自主事業を行っています。博物館を盛り上げ、そして、自分たちも楽しむ活動に参加することは会員の大きな特典です。お気軽にご参加ください!

研修旅行

春と秋、年2回行うバスツアーです。各地の史跡や博物館をテーマに県内外を幅広くまわっています。今年6月13日(月)に開催した春の研修旅行は新潟市秋葉区を歴史散歩。友の会行事としては初めてとなる大鹿の吉田邸、秋葉山の吉田東伍墓所を訪問して、感慨ひとしおでした。秋葉区在住会員の皆さんの地元を愛する素晴らしいコース設定と豊富な解説資料も好評でした。

吉田邸で友の会会員で名誉館長の吉田ゆきさんのお話を聞く▶



ミュージアムコンサート

きっかけは、「東伍博士の生家で庭園を眺めながら音楽を聴いてみたい」というお茶飲み話からです。今年で13回(13年目)を迎えるTOGO Museum Ensemble演奏会(略称はTME)は、弦楽器やピアノ・声楽の響きを四季折々の風景とともに楽しむことができます。好評につき年2回にという声に応えて、もう一つの演奏会「サロンコンサート」は誕生しました。第9回目の今年6月4日(土)は、「和のサロン~阿賀野市民による謡曲・仕舞と能面の展示~」と題して、水原観世会、松風会、水原能面を打つ会の皆さんによる謡曲・仕舞の上演と能面を展示。会員以外の参加も多く、手作りのコンサートの雰囲気が市民に定着しつつあります。



星空観察会・どんど昔を聞く会

博物館が開催する「夏休み子ども博物館」にあわせて開催します。「星空への招待」をテーマにした星空観察会は、月・惑星を望遠鏡で観測しながら、ペルセウス座流星群や夏の星座を天文ファンの会員が解説。最近は晴れ間に恵まれませんでしたが、今年8月6日(土)夜は好天となり大成功。はじめて共催した阿賀野市立図書館のスタッフによる「読み聞かせ」「おはなし」も大好評でした。「とんと昔を聞く会」は、郷土に伝わる懐かしい昔話を、夕涼みがてら、夜の博物館で聞きます。語り手と聴き手の距離が近く、童心に帰って昔話を楽しむことができます。今年は、8月26日(金)に開催しました。



√
瓢湖水きん公園
で天体観察

サークル活動

会員有志による自主サークルです。会員であれば自由に参加できます。現在は、「'花'の会」と「白河荘を歩く会」が活動中。例会に集い、情報交換やよもやま話に興じる活動は、会員同士の親睦を深める貴重な場になっています。近況と今後の活動予定をお知らせします。

サークル例会への参加申し込みは、資料準備の都合上、前日までに友の会事務局(博物館内)へ電話・FAX・メールでお願いします。

'私'の会

秋の例会~古典と新作を~

去る9月8日(木)午後1時30分から能楽に関する映像を鑑賞しました。「邯鄲」(かんたん)の蝋燭能と「鶴女房」(新作、津村禮次郎作)です。どちらも観世流ですが、古典と新作の違いを楽しみました。

「邯鄲」とは中国の地名。物語は人生に迷い、思い悩む青年が彼の地の宿の女主人が持つ、不思議な枕(実は仙人の枕)で見た夢とは……覚めてみれば栗飯一炊の夢という、人生の栄華と儚さをシンプルにあらわしている舞台です。後に芥川龍之介や三島由紀夫が小説に取り上げた名曲でもあります。また、蝋燭能とは現代の照明をいっさい使わず、本当に蝋燭だけの灯りのもとに幽玄さが際立つ演能のひとつです。津村禮次郎氏の蝋燭能を博物館でという「夢」もありますので、映像でその概略を知ることができよかったと思います。

新作能「鶴女房」は誰もがご存知の「鶴の恩返し」が下敷きです。"シテ"の鶴は、なんと男性のダンサー。白い布をまとった半裸体のしなかやかで繊細な舞いは、人間の体が本当に鶴に見え、その苦しみ悲しみがそくそくと伝わってきて、感嘆いたしました。新作能には賛否両論さまざまあるようですが、それはいつの世においても常のこと。伝統を重んじる能楽界では反発もまた強いものがあるのでしょう。ですが、それは先を行く者の負う尊い受難といえるかもしれません。しかし、新作も伝統という確かな土台があったればこそ。その伝統をふまえた者のみが成し得る挑戦ともいえましょう。そもそも世阿弥こそ最大の革新者であったのでは、とも考えられますが、過言でしょうか。

次回例会も下記のとおり計画していますので、ぜひで参加ください。 (サークル責任者 小野里澄子)

冬の例会のご案内

日時: 12月1日(木) 13:30~15:30

会 場:市立吉田東伍記念博物館

内容:直江兼続に関する能などを話題にしながら、

楽しく語り合います。

白河荘を歩く会

9月例会 ~発掘現場を見学~

9月15日(木)に開催した例会は、阿賀野市教育委員会文化行政係の皆さんのご案内で、市内の遺跡発掘現場を中心に歩きました。博物館で事前レクチャー後、京ヶ瀬支所1階で開催されている発掘速報展を見学。様々な土器や井戸(曲げ物)など、出土した遺物の魅力に触れました。その後、山口野中遺跡へ。道路工事に伴う発掘調査が数次にわったって実施されている遺跡で、珠洲焼や当地産の中世陶器、舶載磁器などがたくさん出土しています。方形にめぐる大きな溝、大きな建造物の柱穴、井戸、道路の一部などの遺構も確認され、まだ確実ではないけれども、中世前期のかなり立派な構造物の存在が推定されるとのことでした。帰り道では、阿賀野川の旧河道を意識しながら景観を観察。遺跡の立地景観を体感できました。

冬の間は、館内での学習会を実施します。そして、これまでの会の活動と配布資料を集成した冊子作りも今後の視野に入れています。郷土研究の基本、現地を歩いて考えることをこれからも楽しく継続していきたいと思います。 (サークル責任者 田中洋史)

11月例会 ~阿賀野市籠田・福永地区を歩く~

日 時: **11月17日(木)** 13:30~16:30

集合場所:市立吉田東伍記念博物館

内 容:籠田・福永地区の歴史を訪ねます

参加費:200円(資料代·車代)

その他:歩きやすい服装・靴でご参加ください。

なお、12月例会は県立歴史博物館出前講座(4頁参照)に

学習会の一環として参加します。



▲山□野中遺跡の発掘現場を見学

10月・12月に開催する博物館&友の会事業のご案内

阿賀野市立吉田東伍記念博物館ミュージアムコンサート2011

TOGO Museum Ensemble

第13回演奏会 **弦楽四重奏の愉しみ**

恒例のTME演奏会は、じっくりと弦楽器の魅力に迫ります。前半は没後120年を記念して、映画「アマデウス」でおなじみのモーツァルトの名曲を、後半はストリングスの響きに満たされた親しみやすいポピュラー名曲集をお届けします。紅葉の季節、吉田東伍生家の日本家屋とともにお楽しみ下さい。

日時 平成23年10月30日(日) 14:00開演(13:30開場)

阿賀野市立吉田東伍記念博物館 付属「吉田東伍生家」大広間

主催
阿賀野市立吉田東伍記念博物館、吉田東伍記念博物館友の会

出演 TOGO Museum Ensemble (弦楽四重奏)
ヴァイオリン: 奈良秀樹・井口 歩 ヴィオラ: 和田意織 チェロ: 安部信之介

入場料 友の会会員は無料。 会員以外の方も通常入館料(一般300円、小中学生150円)のみでご鑑賞いただけます。

申し込み 不要(直接会場にお越しください)

会場

プログラム(予定)

モーツァルト/ セレナード第13番 「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」 バッハ/「G線上のアリア」ほか

新潟県立歴史博物館出前講座「江戸時代の越後国絵図」

江戸時代に幕府の指示で描かれた越後国絵図(正保国絵図、元禄国絵図、天保国絵図)の概要を紹介し、そこから みえる江戸時代の越後国と、現在の阿賀野市域のすがたを探ります。

日時 平成23年12月4日(日) 14:00~15:30

会場 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 2階研修室

阿賀野市立吉田東伍記念博物館 新潟県立歴史博物館

渡部浩二 氏 (新潟県立歴史博物館 主任研究員)

詳しい内容については、 後日お知らせします。

□友の会伝言板 …… 事務局より

■ 吉田東伍生家・庭園の清掃美化奉仕活動にご参加ください!

TME演奏会に向けて、10月22日出早朝、午前6時30分から清掃・草取りなどを行います。 博物館のサポート活動の一環としてご協力をお願いします。

2 吉田東伍記念博物館がツイッターの試用を開始!

吉田東伍記念博物館は関係情報の収集と館活動の様子を即時に配信するため、ツイッターの試用を始めました。ツイッターのアカウントは@y_togoです。アイコンには吉田東伍40歳代前半の肖像写真が用いられています。ツイッターユーザーの方はぜひ博物館のフォロワーになって、有益な情報提供と配信にご協力を。



新規会員を募集しています!ご近所、お友だち、ご家族に 入会のお声がけをお願いします。

編集後記

何か落ち着いて物事を始めたくなる秋の季節。今年こそは積読の本を開いて、読書の秋を目指しています。バスや鉄道を乗り継いで、旅する秋も魅力的です。もちろん、その目的地の一つは吉田東伍記念博物館。そして、友の会活動への参加です。(H·T)

